



2022年3月28日

各位

上場会社名 マルハニチロ株式会社
代表者 代表取締役社長 池見 賢
(コード番号 1333、東証第1部)
問合せ先責任者 経営企画部
IRグループ 部長役 目時 弘幸
(TEL. 03-6833-1195)

マルハニチログループ 中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV 2024」について

マルハニチロ株式会社(代表取締役社長:池見 賢)は、2022年度から2024年度までの3年間を対象とするグループ中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV 2024」を策定しました。

本計画は、「海といのちの未来をつくる」というブランドステートメントのもと、人々の豊かなくらしとしあわせに貢献するというグループ理念の実現に向けて、変化の激しい経営環境の中にあっても、「経済価値」「社会価値」「環境価値」の創造に引き続き取り組み、企業価値の更なる向上、持続的な成長を目指してまいります。

1. 前中期経営計画の総括

当社グループは、2018年度からスタートした中期経営計画「Innovation toward 2021」において、「収益力の更なる向上」「成長への取り組み」「経営基盤の強化」を掲げ取り組んでまいりました。

加工食品事業において、生産拠点再編や戦略投資により収益力が向上し、また財務基盤強化は着実に進捗いたしました。

しかし、一方では事業構造改革、成長ドライバー事業への戦略投資、部門を超えたバリューチェーン強化に、課題を残すこととなりました。

2. 2027年に向けた新長期経営ビジョン

企業価値向上と持続的成長の実現に向け、長期経営ビジョンを再定義しました。

新長期経営 ビジョン

1. 事業活動を通じた経済価値、社会価値、環境価値の創造により、持続可能な地球・社会づくりに貢献する
2. 総合食品企業として、グローバルに「マルハニチロブランド」の提供価値を高め、お客様の健康価値創造に貢献する
3. 水産資源調達力と食品加工技術力にもとづく持続可能なバリューチェーンを強化し、企業価値の最大化を実現する

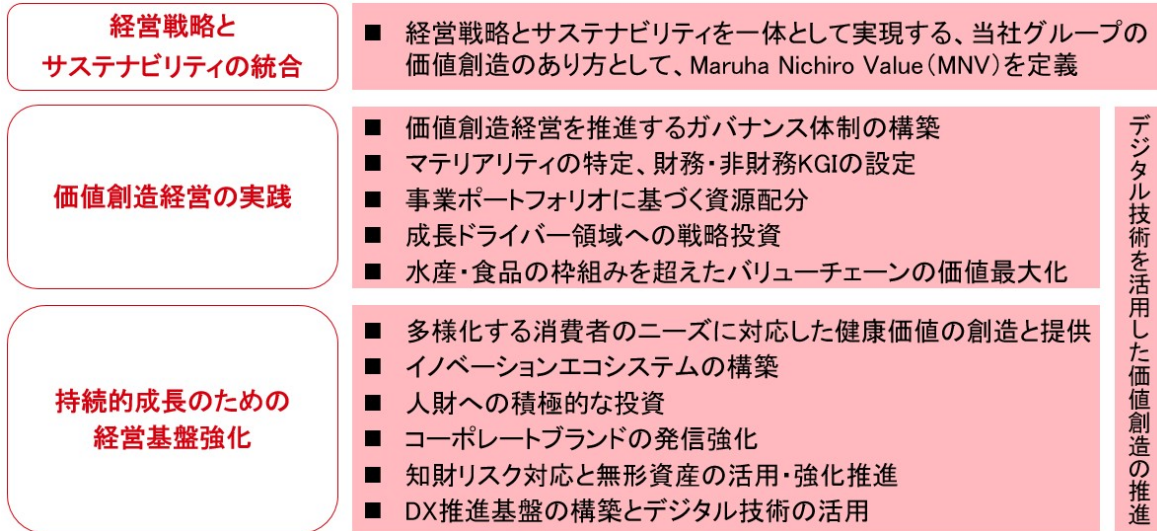
事業ビジョン

1. 世界No.1の水産会社としての地位を確立する
2. 冷凍食品・介護食品のトップメーカーとしての地位を確立する
3. 水産物および水産物由来をはじめとする機能性材料における健康価値創造のリーディングカンパニーとしての地位を確立する

3. 新中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV 2024」の概要

(1) 新中期経営計画の基本的な考え方

再定義した長期経営ビジョンの実現に向けて、非連続な成長のロードマップをバックキャストで描き、「経営戦略とサステナビリティの統合」「価値創造経営の実践」「持続的成長のための経営基盤強化」に取り組みます。



(2) 経営戦略とサステナビリティの統合

経営戦略とサステナビリティの統合により、すべてのステークホルダーに対して Maruha Nichiro Value (MNV) を創造し、企業価値向上と持続的成長を実現します。

MNV の創造にあたっては、事業の継続性を担保する土台である経済価値の最大化に向けた経営戦略を着実に実行しつつ、環境価値・社会価値の最大化を目指します。

(3) 価値創造経営の実践(経営戦略)

財務 KGI

		24年度計画 A	27年度目標 B	21年度予想 C	差異	
					A-C	B-C
MNEV	(億円)	95~	110~	89	6	21
売上高	(億円)	9,600~	10,000~	8,600	1,000	1,400
営業利益	(億円)	270~	310~	230	40	80
EBITDA	(億円)	465~	500~	412	53	88
ROIC		4.3%~	5%~	4.1%	0.2pt	0.9pt
ROE		9%~	9%~	10.7%	▲1.7pt	▲1.7pt
ネットD/Eレシオ		~1.2倍	~1.0倍	1.4倍	▲0.2pt	▲0.4pt

※経済価値(MNEV: Maruha Nichiro Economic Value)創造の考え方

MNEVは、“事業活動の成果に伴う経済付加価値額として、投下資本利益率(ROIC)と加重平均資本コスト(WACC)の差(MNEV スプレッド)に、投下資本を乗じ算出し可視化

$$\begin{array}{c}
 \text{MNEV} = \text{MNEVスプレッド} \times \text{投下資本} \\
 \text{MNEVスプレッド} = \text{投下資本に対する利回り (ROIC: 投下資本利益率)} - \text{資本コスト (WACC: 加重平均資本コスト)}
 \end{array}$$

(4) 価値創造経営の実践(サステナビリティ戦略)

「世界No.1の水産会社」として、当社グループが果たすべき役割を明確にし、マテリアリティを見直し、「環境価値」「社会価値」の創造を目指します。

- | | |
|---------|--|
| 環境価値の創造 | <ul style="list-style-type: none"> ① 気候変動問題への対応 ② 循環型社会実現への貢献 ③ 海洋プラスチック問題への対応 ④ 生物多様性と生態系の保全 |
| 社会価値の創造 | <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 安全・安心な食の提供 ⑥ 健康価値創造と持続可能性に貢献する食の提供 ⑦ 多様な人財が安心して活躍できる職場環境の構築 ⑧ 事業活動における人権の尊重 ⑨ 持続可能なサプライチェーンの構築 |

(5) 持続的成長のための経営基盤強化

- | | |
|-----------------------------|--|
| 多様化する消費者のニーズに対応した健康価値の創造と提供 | <ul style="list-style-type: none"> • 水産資源調達力と食品加工技術力を生かし、お客様の健康に貢献できる食品を提供(冷凍食品・加工食品、機能性食品、介護食、ペットフード) |
| イノベーションエコシステムの構築 | <ul style="list-style-type: none"> • マリンテック領域とフードテック領域への先行投資 • 新規事業領域でのデジタル活用の可能性探索 |
| 人財への積極的な投資 | <ul style="list-style-type: none"> • 「新しい時代のチェンジメーカー創出」を目標に、組織・人財の強化に取り組む |
| コーポレートブランドの発信強化 | <ul style="list-style-type: none"> • “魚の多様な価値”の提案を通じ、「ブランドの提供価値」の発信を強化 |
| 知財リスク対応と無形資産の活用・強化推進 | <ul style="list-style-type: none"> • グループ内連携を強化し、知財リスクへの対応と無形資産の活用・強化をグループ全体で推進 |
| DX推進基盤の構築とデジタル技術の活用 | <ul style="list-style-type: none"> • 経営主導によるDX推進体制構築、変革と新技術を生み出す基盤強化 • 既存IT資産のモダナイズ、業務プロセス変革による生産性向上 |

詳細につきましては、以下をご参照ください。

中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV 2024」

URL: <https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/ir/library/presentation.html>